

『新 伴侶動物治療指針 1』(1刷) 訂正とお詫び

ISBN978-4-89531-863-1

下記の箇所に誤りがございました。訂正するとともに深くお詫び申し上げます。

株式会社 緑書房

訂正箇所	誤	正
p. 21 表 2 左上	Keren による 4 段階の雑音強度	<u>Ljungvall</u> による 4 段階の雑音強度
p. 21 表 2 表下	Keren および Freeman と Levine による分類は人医学領域, Ettinge による分類は獣医学領域のものである。 (文献 46 をもとに作成)	<u>Freeman と Levine</u> による分類は人医学領域, <u>Ljungvall と Ettinger</u> による分類は獣医学領域のものである。 (文献 48 をもとに作成)
p. 21 左段 (3) 1 行目~2 行目	心雑音の雑音強度は 6 段階で表記するのが一般的であるが,	心雑音の雑音強度は 6 段階で表記するのが一般的であるが, <u>Karen</u> らは 6 段階分類の有用性を疑問視している ⁴⁶⁾ 。
p. 21 左段 (3) 2 行目~4 行目	前述の観察研究では Keren の報告に従って「柔らかい」, 「中程度」, 「大きい」, 「触知可能 (触診でスリルあり)」とした (表 2) ⁴⁶⁾ 。	前述の観察研究では <u>Ljungvall</u> の報告に従って「柔らかい」「中程度」「大きい」「触知可能 (触診でスリルあり)」とした (表 2) ⁴⁸⁾ 。
p. 171 左段②1 行目	デキサメタゾン 0.1mg/kg	デキサメタゾン 0.01mg/kg